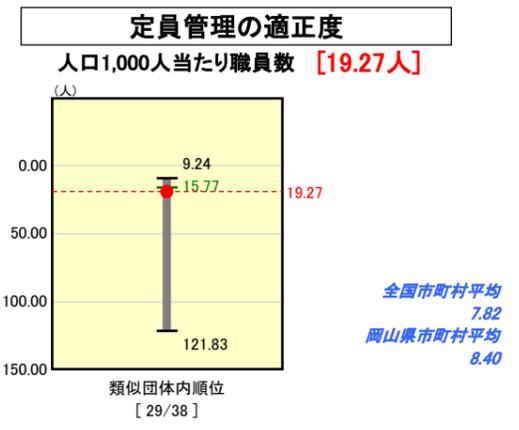
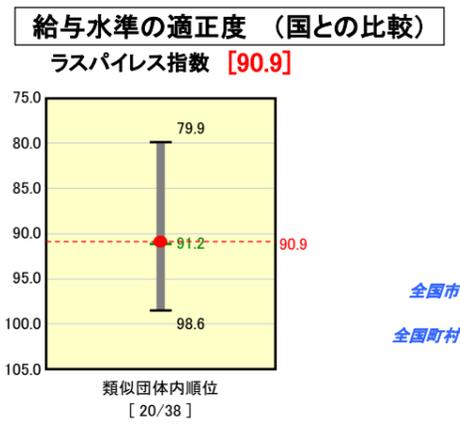
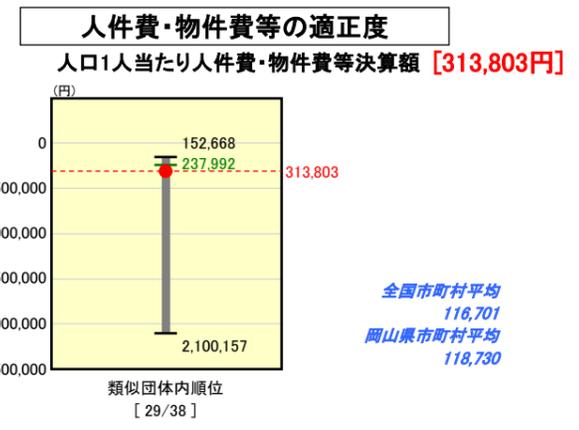
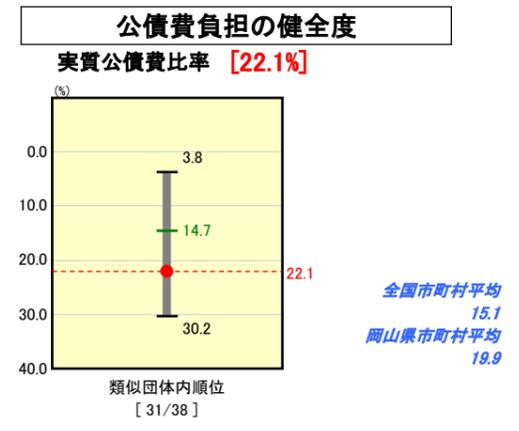
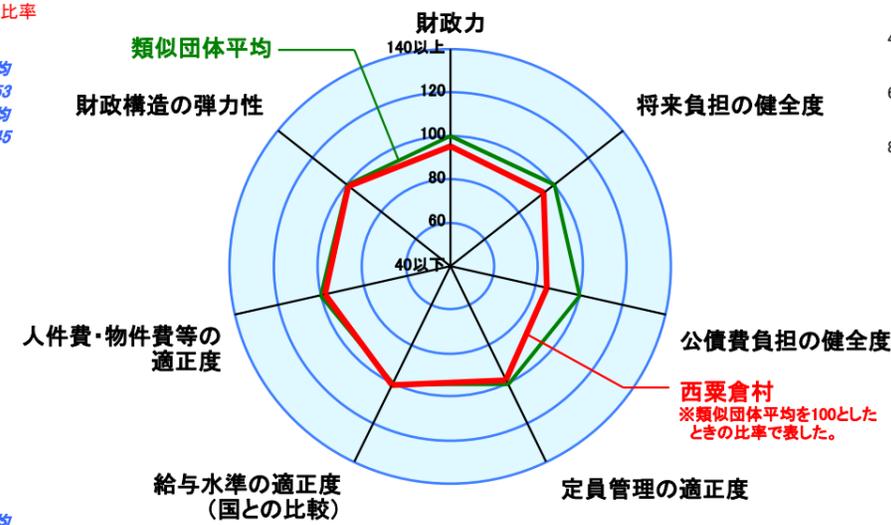
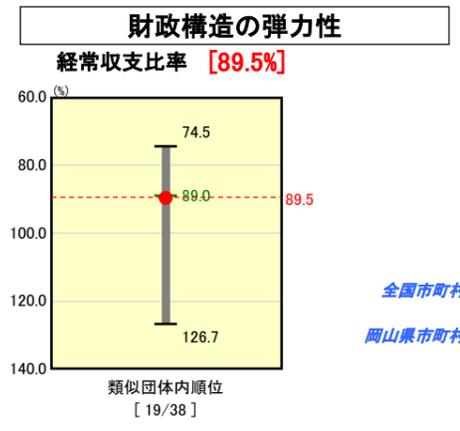
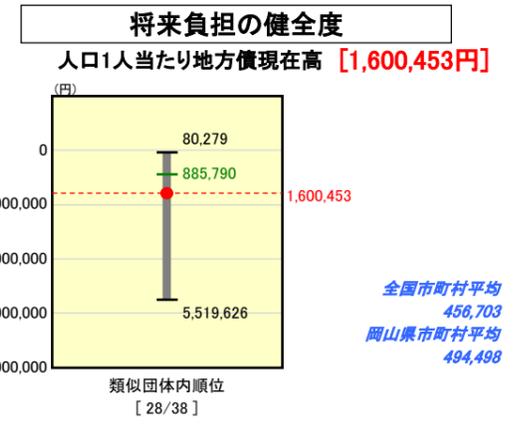
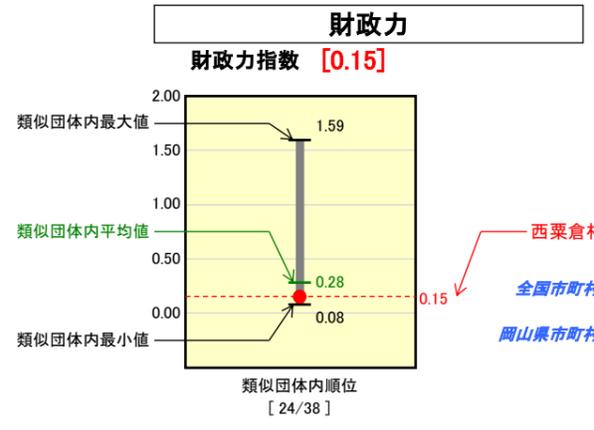


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

岡山県 西粟倉村

人口	1,661	人(H19.3.31現在)
面積	57.93	km ²
歳入総額	2,218,071	千円
歳出総額	2,155,680	千円



分析欄

【財政力指数】
財政力指数を年度比較すると、H14年度0.12、H15年度0.13、H16年度0.14、H17年度0.14とわずかに改善しているが、経済基盤が弱い本村は税収が乏しく、類似団体平均を下回り岡山下で最下位にある。農林業、観光業、環境関連事業など地域資源を活用した産業振興に努め税収向上を目指す。

【経常収支比率】
経常収支比率を年度比較すると、H14年度87.5%、H15年度89.4%、H16年度91.7%、H17年度93.3%急激に悪化した。H18年度は改善が見られる。その要因は、人件費と公債費の減少である。引き続き集中改革プラン及び公債費適正化計画に定める目標値の達成に努める。

【人件費・物件費等の適正度】
H18年度の経常一般財源に占める人件費の割合は、25.7%、物件費は、10.1%と高い水準にある。小規模自治体の財政に占める人件費はどうしても高くなるが、類似団体の中にも高い水準にあることから、よりいっそう人件費の削減に努める必要がある。

【将来負担の健全度】

と減少傾向にある。H19年度に財政健全化計画(H19～H24)を策定し、地方債発行の抑制によりH24年度には21.78億円する縮減目標を立てている。

【公債費負担の健全度】
実質公債費比率は、国の健全度基準18%を大幅に上回り、類似団体にあっても健全度が低い状況にある。本村では、H18年度から公債費適正化計画を策定し、H19～H23年度の5年間で地方債発行総額6.0億円(臨時財政対策債を除く。)を着実に実施し、地方債の発行総額を減らし(H18年度末26.6億円→H24年度末21.8億円見込み)、H24年度実質公債費比率は17.5%になる見込みである。H17年度実質公債費比率は20.3%と公表したが、当該比率の算出方法が全国一律に見直されたため本年度は前年を上回ったが、内容において悪化したものではない。また、H21年度には、約1億円の繰上償還を行う予定に引き続き健全化に努める。

【給与水準の適正度】
ラスパイレズ指数(国との比較)では、類似団体平均をわずかに下回っている。職員人件費の適正化に努める。

【定員管理の適正度】
人口1,000人当たり職員数は、類似団体平均を上回っている。国の総人件費改革、公務員制度改革に調和して職員定数

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。